



小石川ちとせ保育園

テーマ「音」 5歳児



〇材料

- ・サウンドブロック
- ・木製のマレット
- ・ゴム製のマレット
- ・プラスチックのマレット
- ・毛糸
- ・スポンジシート
- ・緩衝材
- ・花紙
- ・すべり止めシート
- ・両面テープ
- ・輪ゴム

〇手順

- ①木製、ゴム製、プラスチック製のマレットで叩いた音を聴き比べる。
- ②グループに分かれて、どの素材を使うかを選び、それぞれどのような音がするかを話し合いながら予想する。
- ③木製のマレットに、両面テープや輪ゴムで素材をつける。
- ④全員の前で、一人ずつ音を鳴らす。感想を話し合う。

〇まとめ

自分たちでマレットを作る、ということにワクワクし、より音に関心を示してサウンドブロックの音色をよく聴く姿が多く見られた。また、自分たちで作ったことで、素材にも興味が向き、なぜ音がよく響いたのか、上手く鳴らなかったのかを考える様子があった。さらに、上手く鳴らそうと、叩き方も試行錯誤を重ね、その後の発表会での合奏でも、その経験を活かして演奏し、上手に出来たことに達成感を感じていたようだった。



〇子どもの様子(手順に沿って)

- ①木製やプラスチック製の物について「キーンって音がする」、ゴム製の物について「音が長く続いているね」などと話していた。
- ②マレットの見た目を可愛らしくしたい、使ったことのない素材を使ってみたい、という理由で素材を選ぶ子どもが多かったが、よく響いたゴム製のマレットに似たすべり止めシートを選ぶなど、音を良くするために工夫をする子どももいた。
- ③いくつかの素材を組み合わせ作り、他児が作っている物を見て、さらに付け加えるなどしていた。毛糸などは貼ることに特に苦戦していたが、周りの他児がアドバイスしたり手伝ったりする様子が見られた。
- ④それぞれの音に、集中して耳を傾けていた。

マレットに貼った素材が分厚く、上手く音が鳴らないものもあったが、鳴ったものとの違いを考え、「周りが分厚いからだ」と気づく子どももいた。叩き方によっても音が変わることにも気づく姿もあった。